

2021年度
学校だより
第5号

しもね

牛久市立下根中学校
令和3年5月26日
文責 校長 本橋和久

授業づくりで学校づくり～安心して質の高い学びに挑戦できる学校に

今年度から中学校学習指導要領が全面実施されています。私たちが10年前から取り組んでいる協働的な学び（アクティブ・ラーニング）もようやく国の学習指導要領に反映され、全国の学校でも牛久市で実践されているような授業が行われることになりました。小学1年生の時から6年間、仲間と共に学ぶ授業を経験して入学してくる本校の生徒たちは、4月から質の高い学びを展開しています。自然体で互いの発言を聴き合ったり、小さなつまづきはすぐに訊き合って解消したりして、どの教室でも安心してしっかりと学ぶ姿が見られます。中学校では、小学校で身に付けた学び方をさらに質的に高めていく必要があるため、教職員は毎週・毎月の研修日に、どうしたら質の高い学びを実現できるか、どのような課題を設定し、どのような資料を用意し、どのように授業を進めていけば夢中になって学べるか研究しています。グループでの協働やタブレットに代表されるICTも活用しながら、どの生徒も「難しかったけれど楽しかった!」と思えるような授業を提供したいと考えています。



タブレットでつながることもできる



自分事として課題に向き合う



仲間の学びをモニターして学ぶ



ノートが「学びの場」になる



昨日の自分たちを超えるために



仲間との対話の前にまずテキストと

黙働給食を続けています！～新型コロナウイルス感染防止のために

学校生活の中で感染リスクが最も高まるのは給食の時間です。喫食の際には全員がマスクを外すからです。そこで、本校では4校時終了と同時に完全な黙働タイムとして、昼休み開始時刻まで一切の会話をせずに配膳、喫食、片付けを行うようにしています。既にどの学年の生徒も完全黙働給食が身に付き、配膳中も食べている間も話し声はありません。本校の生徒たちの意識の高さにはいつも感心させられます。これからも油断せずに、新しい生活様式を守りながら健康維持に努めていきます。



全く言葉を使わず配膳する生徒たち



待ち時間も一切会話がな教室